

6. 植生自然度

時点 昭和54年, 58~61年  
 単位 %

順位	都道府県名	数	値	順位	都道府県名	数	値
1	北海道		49.6	24	埼玉県		4.8
2	沖縄		48.2	24	長崎		4.8
3	富山		30.1	26	大分		4.6
4	鹿児島		23.7	27	三重		4.5
5	山形		23.0	28	高知		4.1
6	新潟		19.9	29	鳥取		4.0
—	全国		19.3	30	徳島		3.9
7	長野		18.8	31	神奈川県		3.5
8	青森		18.5	32	和歌山		3.2
9	秋田		17.4	33	山口		3.1
10	群馬		17.3	33	熊本		3.1
11	山梨		16.6	35	愛媛		2.9
12	岐阜		15.1	36	滋賀		2.6
13	福島		13.1	37	京都		2.2
14	石川		12.1	38	◎千葉県		1.8
15	宮崎		11.8	39	兵庫県		1.7
16	岩手		11.7	40	茨城		1.5
17	宮城		11.3	41	福岡		1.3
18	奈良		10.4	42	島根		1.1
19	東京		8.8	43	大阪		0.9
20	静岡		8.6	43	佐賀		0.9
21	栃木		8.3	45	愛知		0.8
22	香川		6.0	46	広島		0.7
23	福井		5.4	47	岡山		0.6

摘  
  
  
  
要

・資料 環境庁「第2, 3回自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査)」

・自然環境保全基礎調査の一環として行われる植生調査により分類されている自然度10(自然草原)及び9(自然林)の、植生全体に占める比率を示す。

{	自然度 10 自然草原	自然度 5 二次草原(背の高い)
	〃 9 自然林	〃 4 〃 (背の低い)
	〃 8 二次林(自然林に近い)	〃 3 農耕地(樹園地)
	〃 7 二次林	〃 2 〃 (水田, 畑)
	〃 6 造林地	〃 1 市街地, 造成地

※自然度10及び9は、自然性の高さにおいては同じランクに位置付けされる。